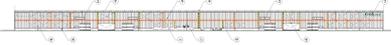


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)協同組合アツリウ倉庫新築工事	階数	1
建設地	平塚市大神字上核83番、84番、85番1、85番2、85番3、85番4 厚木市長沼字北耕地235番1、235番2、235番3	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2024年4月2日
敷地面積	3,967 m ²	作成者	株式会社日新工営
建築面積	2,554 m ²	確認日	2024年4月2日
延床面積	2,646 m ²	確認者	株式会社日新工営



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
厚木市の準工業地域に倉庫を計画した。	特になし	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 ゆとりのある階高にて、将来の用途変更可能性を考慮している	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用していない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される